



## 構成の管理

### SnapCenter Plug-in for VMware vSphere 6.2

NetApp  
October 27, 2025

# 目次

構成の管理 .....	1
バックアップのタイムゾーンの変更 .....	1
ログオン資格情報の変更 .....	2
vCenterログオンクレデンシャルの変更 .....	3
ネットワーク設定の変更 .....	4
設定のデフォルト値を変更します。 .....	5
scbr.override構成ファイルを作成します。 .....	5
オーバーライド可能なプロパティ .....	5
SnapCenter Plug-in for VMware vSphereのSSHの有効化 .....	10

# 構成の管理

## バックアップのタイムゾーンの変更

開始する前に

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere管理ユーザー インターフェイスの IP アドレスとログイン資格情報を知っておく必要があります。また、メンテナンス コンソールから生成されたMFAトークンもメモしておく必要があります。

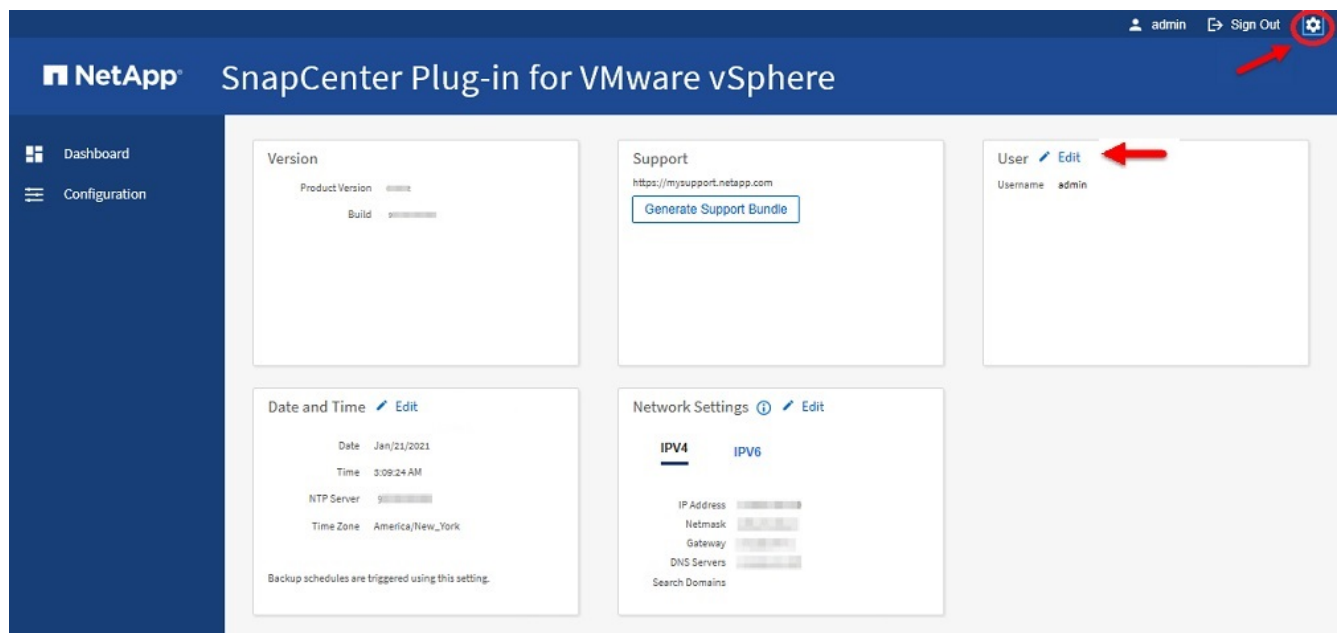
- このIPアドレスは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの導入時に表示されていました。
- SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの導入時に指定したログインクレデンシャル、またはあとで変更したログインクレデンシャルを使用します。
- メンテナンスコンソールの[System Configuration]オプションを使用して、6桁のMFAトークンを生成します。

手順

1. SnapCenter Plug-in for VMware vSphere管理ユーザー インターフェイスにログインします。

次の形式を使用： `https://<appliance-IP-address>:8080`

2. 上部ツールバーの[設定]アイコンを選択します。



3. ページの[日時]セクションで、[編集]\*を選択します。
4. 新しいタイムゾーンを選択し、\*[保存]\*を選択します。

新しいタイムゾーンは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereで実行されるすべてのバックアップに使用されます。

# ログオン資格情報の変更

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere管理ユーザー インターフェイスのログオン資格情報を変更できます。

開始する前に

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere管理ユーザー インターフェイスの IP アドレスとログオン資格情報を知っておく必要があります。また、メンテナンス コンソールから生成されたMFAトークンもメモしておく必要があります。

- このIPアドレスは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの導入時に表示されていました。
- SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの導入時に指定したログインクレデンシャル、またはあとで変更したログインクレデンシャルを使用します。
- メンテナンスコンソールの[System Configuration]オプションを使用して、6桁のMFAトークンを生成します。

手順

1. SnapCenter Plug-in for VMware vSphere管理ユーザー インターフェイスにログインします。

次の形式を使用： `https://<appliance-IP-address>:8080`

2. 上部ツールバーの[設定]アイコンを選択します。



3. ページの[ユーザー]セクションで、[編集]\*を選択します。
4. 新しいパスワードを入力し、\*[保存]\*を選択します。

すべてのサービスが復旧するまでに数分かかることがあります。

# vCenterログオンクレデンシャルの変更

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereで設定されているvCenterログオンクレデンシャルを変更できます。プラグインはこれらの設定を使用してvCenterにアクセスします。vCenterのパスワードを変更した場合、VVOLバックアップがシームレスに機能するためには、ONTAP tools for VMware vSphereの登録を解除し、新しいパスワードで再登録する必要があります。

開始する前に

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere管理ユーザー インターフェイスの IP アドレスとログオン資格情報を知っておく必要があります。また、メンテナンス コンソールから生成されたMFAトークンもメモしておく必要があります。

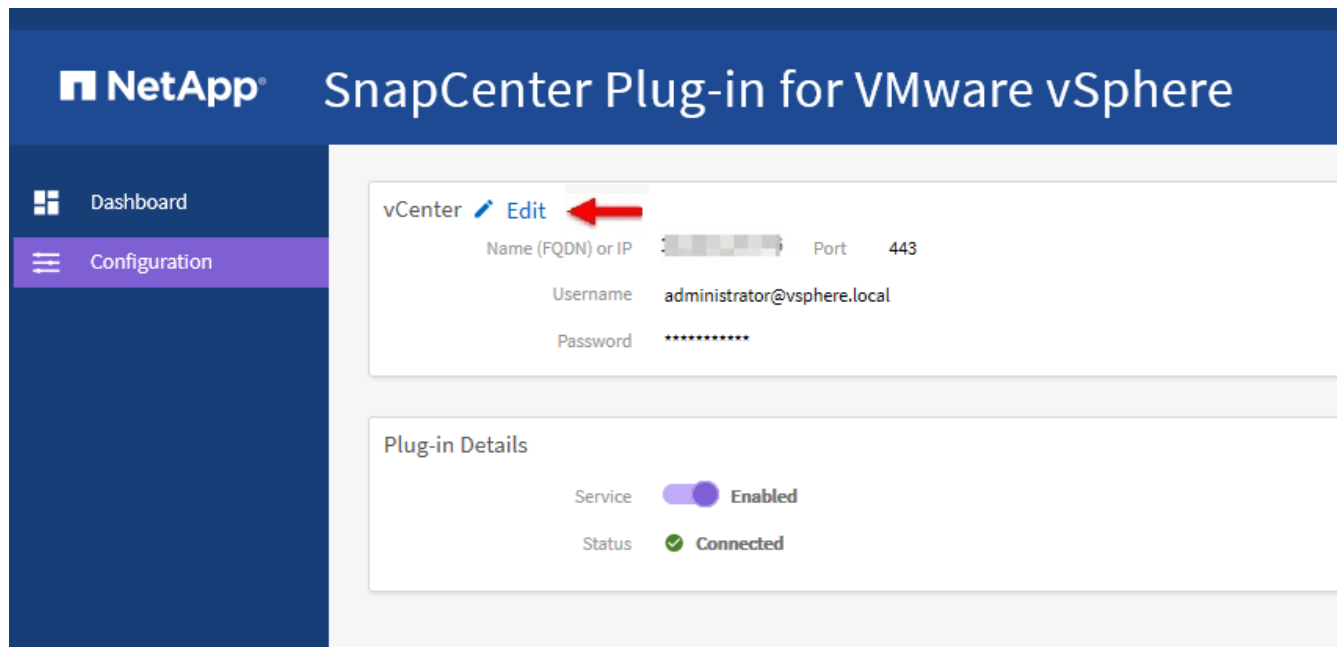
- このIPアドレスは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの導入時に表示されていました。
- SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの導入時に指定したログインクレデンシャル、またはあとで変更したログインクレデンシャルを使用します。
- メンテナンスコンソールの[System Configuration]オプションを使用して、6桁のMFAトークンを生成します。

手順

1. SnapCenter Plug-in for VMware vSphere管理ユーザー インターフェイスにログインします。

次の形式を使用： `https://<appliance-IP-address>:8080`

2. 左側のナビゲーションペインで、\*[設定]\*を選択します。



3. ページの[vCenter]セクションで、[Edit]\*を選択します。

4. 新しいパスワードを入力し、\*[保存]\*を選択します。

ポート番号は変更しないでください。

# ネットワーク設定の変更

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereで設定されているネットワーク設定を変更することができます。プラグインはこれらの設定を使用してvCenterにアクセスします。

開始する前に

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere管理ユーザー インターフェイスの IP アドレスとログイン資格情報を知っておく必要があります。また、メンテナンス コンソールから生成されたMFAトークンもメモしておく必要があります。

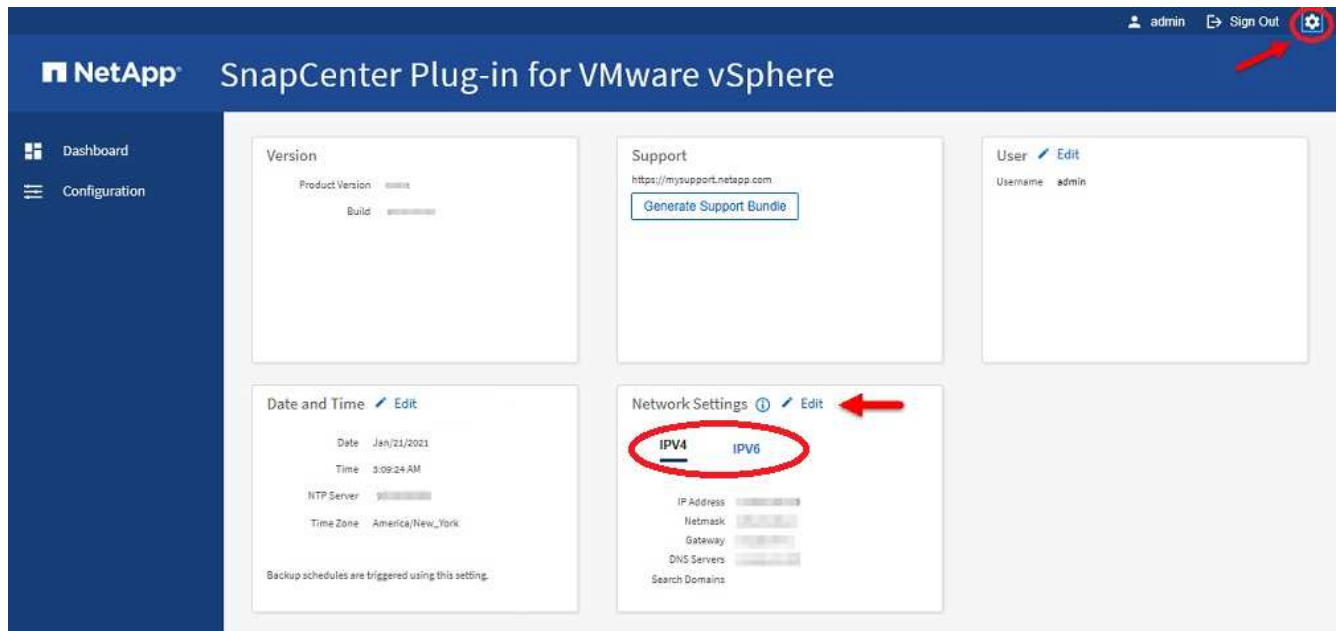
- このIPアドレスは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの導入時に表示されていました。
- SnapCenter Plug-in for VMware vSphereの導入時に指定したログインクレデンシャル、またはあとで変更したログインクレデンシャルを使用します。
- メンテナンスコンソールの[System Configuration]オプションを使用して、6桁のMFAトークンを生成します。

手順

1. SnapCenter Plug-in for VMware vSphere管理ユーザー インターフェイスにログインします。

次の形式を使用： `https://<appliance-IP-address>:8080`

2. 上部ツールバーの[設定]アイコンを選択します。



3. [設定]ページの\*セクションで、IPv4 または IPv6 アドレスを選択し、[編集]\*を選択します。

新しい情報を入力し、\*[保存]\*を選択します。

4. ネットワーク設定を削除する場合は、次の手順を実行します。

- IPv4：[IPアドレス]フィールドにと入力し 0.0.0.0、\*[保存]\*を選択します。
- IPv6：[IPアドレス]フィールドにと入力し、\*[保存]\*を `::0` 選択します。



IPv4アドレスとIPv6アドレスの両方を使用している場合、両方のネットワーク設定を削除することはできません。残りのネットワークでは、[DNS Servers]フィールドと[Search Domains]フィールドを指定する必要があります。

## 設定のデフォルト値を変更します。

運用効率を高めるために、構成ファイルを変更してデフォルト値を変更することができます `scbr.override`。これらの値は、バックアップ中に作成または削除されるVMwareスナップショットの数、バックアップスクリプトの実行を停止するまでの時間などの設定を制御します。

``scbr.override`` 構成ファイルは、SnapCenterアプリケーションベースのデータ保護処理をサポートする環境でSnapCenter Plug-in for VMware vSphereで使用されます。このファイルが存在しない場合は、テンプレートファイルから作成する必要があります。

## `scbr.override`構成ファイルを作成します。

``scbr.override`` 構成ファイルは、SnapCenterアプリケーションベースのデータ保護処理をサポートする環境でSnapCenter Plug-in for VMware vSphereで使用されます。

1. に進みます `/opt/netapp/scvservice/standalone_aegis/etc/scbr/scbr.override-template`。
2. ディレクトリ内のという新しいファイルにファイルをコピーします `scbr.override-template`  
`scbr.override \opt\netapp\scvservice\standalone_aegis\etc\scbr`。

## オーバーライド可能なプロパティ

コンフィギュレーションファイルにリストされているプロパティを使用して、デフォルト値を変更できます `scbr.override`。

- デフォルトでは、テンプレートはハッシュ記号を使用して構成プロパティをコメント化します。プロパティを使用して設定値を変更するには、文字を削除する必要があります # ます。
- 変更を有効にするには、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereホストでサービスを再起動する必要があります。

構成ファイルにリストされている次のプロパティを使用して、デフォルト値を変更でき `scbr.override` ます。

- `* dashboard.protected.vm.count.interval=7*`

ダッシュボードにVMの保護ステータスを表示する日数を指定します。

デフォルト値は「7」です。

- `* disable.weakCiphers=true*`

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereとSnapCenterの間の通信チャンネルで次のweakCipherを無効にします `include.weakCiphers`。 `TLS_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256`  
`TLS_DHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256`

- `* global.ds[.exclusion).pattern *`を入力します

バックアップ処理から除外する1つ以上の従来のデータストアまたはVVolデータストアを指定します。データストアは、任意の有効なJava正規表現を使用して指定できます。

例1: `global.ds.exclusion.pattern=.*21` パターンが同じデータストアを除外します（例：やは除外されます） `datastore21 dstest21`。

例2: 式で `global.ds.exclusion.pattern=ds-.*|^vol123` は、を含む（など）またはで始まるすべてのデータストアが除外されます `ds- scvds-test vol123`。

- `* guestFileRestore.guest.operation.interval=5*`

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereがゲスト処理（オンラインディスクおよびリストアファイル）の完了を監視する時間間隔（秒）です。合計待機時間は、およびで設定され `guestFileRestore.online.disk.timeout`guestFileRestore.restore.files.timeout`` ます。

デフォルト値は「5」です。

- `* guestFileRestore.monitorInterval=30 *`

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが、期限切れのゲストファイルリストアセッションを監視する時間間隔（分）です。設定されたセッション時間を超えて実行されているセッションはすべて切断されます。

デフォルト値は「30」です。

- `* guestFileRestore.online.disk.timeout=100*`

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが、ゲストVMでオンラインのディスク処理が完了するまで待機する時間（秒）です。プラグインがオンラインディスク処理の完了をポーリングするまでに、さらに30秒の待機時間があります。

デフォルト値は「100」です。

- `* guestFileRestore.restore.files.timeout=3600 *`

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereがゲストVMでファイルのリストア処理が完了するまで待機する時間（秒）です。時間を超過すると、プロセスは終了し、ジョブは失敗としてマークされます。

デフォルト値は「3600」（1時間）です。

- `* guestFileRestore.Robocopy.directory.flags=/R:0/W:0/ZB/CopyAll/EFSRAW/A-:SH/E/NJH/NDL/NP)`

ゲストファイルのリストア処理中にディレクトリをコピーするときに使用する追加のRobocopyフラグを指定します。



削除または追加しないで /NJH /NJS ください。これにより、リストア出力の解析が中断されます。

失敗したコピーに対して無限の再試行が発生する可能性があるため、（フラグを削除して）無制限の再試行を許可しないで /R ください。

デフォルト値はです `"/R:0 /W:0 /ZB /CopyAll /EFSRAW /A-:SH /e /NJH /NDL /NP"`。

- `* guestFileRestore.Robocopy.file.flags=/R:0/W:0/ZB/CopyAll/EFSRAW/A-:SH/NJH/NDL/NP)`

ゲストファイルのリストア処理中に個々のファイルをコピーするときに使用する追加のRobocopyフラグを指定します。

削除または追加しないで /NJH /NJS ください。これにより、リストア出力の解析が中断されます。

失敗したコピーに対して無限の再試行が発生する可能性があるため、（フラグを削除して）無制限の再試行を許可しないで /R ください。

デフォルト値はです `"/R:0 /W:0 /ZB /CopyAll /EFSRAW /A-:SH /NJH /NDL /NP"`。

- `* guestFileRestore.sessionTime=1440*`

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereがゲストファイルのリストアセッションをアクティブにしておく時間（分）です。

デフォルト値は「1440」（24時間）です。

- `* guestFileRestore.use.custom.online.disk.script=true*`

ゲストファイルリストアセッションの作成時に、ディスクのオンライン化およびドライブレターを取得にカスタムスクリプトを使用するかどうかを指定します。スクリプトにはある必要があります [Install Path] \etc\guestFileRestore\_onlineDisk.ps1。インストールにはデフォルトのスクリプトが用意されています。値 [Disk\_Serial\_Number]、[Online\_Disk\_Output]、およびは、[Drive\_Output] 添付プロセス中にスクリプトで置き換えられます。

デフォルト値は「false」です。

- `* include.esx.initiator.id.from.cluster=true*`

VMDKワークフローを介したアプリケーションで、クラスタ内のすべてのESXiホストのiSCSIイニシエータとFCPイニシエータのIDをSnapCenter Plug-in for VMware vSphereに含めるように指定します。

デフォルト値は「false」です。

- `*暗号を含みなさい。weakCiphers *`

``disable.weakCiphers``をに設定する

``true``と、デフォルトで無効になる弱い暗号に加えて、無効にする弱い暗号を指定します  
``disable.weakCiphers``。

- `* 最大同時 DS.storage.query.count=15 *`

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereがデータストアのストレージフットプリントを検出するためにSnapCenterサーバに対して実行できる同時呼び出しの最大数です。これらの呼び出しは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere VMホストでLinuxサービスを再起動すると、プラグインによって実行されます。

- `* nfs.datastore.mount.retry.count= 3 *`

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereがvCenterでボリュームをNFSデータストアとしてマウントする最大回数です。

デフォルト値は「3」です。

- `* nfs.datastore.mount.retry.delay=60000*`

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが、vCenterでボリュームをNFSデータストアとしてマウントする試行の間隔（ミリ秒）です。

デフォルト値は「60000」（60秒）です。

- `* script.virtual.machine.count.variable.name = VIRTUE_MACHINES*`

仮想マシン数を含む環境変数の名前を指定します。この変数は、バックアップジョブの実行時にユーザ定義スクリプトを実行する前に定義する必要があります。

たとえば、`virtual_machines=2`と指定すると、2つの仮想マシンがバックアップされます。

- `* script.virtual.machine.info.variable.name=VIRTUAL_MACHINE.%s*`

バックアップ内のn番目の仮想マシンに関する情報を含む環境変数の名前です。この変数は、バックアップ時にユーザ定義スクリプトを実行する前に設定する必要があります。

たとえば、環境変数`virtual_machine.2`は、バックアップ内の2番目の仮想マシンに関する情報を提供します。

- `* script.virtual.machine.info.format= %s|%s|%s|%s|%s*`

仮想マシンに関する情報を提供します。環境変数で設定されるこの情報の形式は次のとおりです。 `vm name|VM UUID| VM power state (on|off)|VM snapshot taken (true|false)|IP address(es)`

指定できる情報の例を示します。

```
VIRTUAL_MACHINE.2=VM 1|564d6769-f07d-6e3b-68b1f3c29ba03a9a|POWERED_ON||true|10.0.4.2
```

- `* storage.connection.timeout=600000 *`

SnapCenter サーバがストレージシステムからの応答を待機する時間をミリ秒単位で指定します。

デフォルト値は「600000」（10分）です。

- `* vmware.esx.ip.kernel.ip.map*`

デフォルト値はありません。この値を使用して、ESXiホストのIPアドレスをVMkernelのIPアドレスにマッ

ピングします。SnapCenter Plug-in for VMware vSphereは、デフォルトでESXiホストの管理VMkernelアダプタIPアドレスを使用します。SnapCenter Plug-in for VMware vSphereで別のVMkernelアダプタIPアドレスを使用する場合は、上書き値を指定する必要があります。

次の例では、管理VMkernelアダプタIPアドレスは10.225.10.56ですが、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereでは指定されたアドレス10.225.11.57と10.225.11.58が使用されます。管理VMkernelアダプタIPアドレスが10.225.10.60の場合、プラグインはアドレス10.225.11.61を使用します。

```
vmware.esx.ip.kernel.ip.map=10.225.10.56:10.225.11.57,10.225.11.58;  
10.225.10.60:10.225.11.61
```

- \* VMware. 最大同時スナップショット数 =30 \*

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereがサーバで実行する同時VMwareスナップショットの最大数です。

この数はデータストア単位でチェックされ、ポリシーで[VM consistent]が選択されている場合にのみチェックされます。crash-consistentバックアップを実行する場合、この設定は適用されません。

デフォルト値は「30」です。

- \* vmware.max.concurrent.snapshots.delete=30\*

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereがサーバで実行する、データストアあたりのVMwareスナップショットの同時削除処理の最大数です。

この数はデータストア単位でチェックされます。

デフォルト値は「30」です。

- \* vmware.query.unresolve.retry.count=10 \*

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが「...time limit for holding off I/O...」が原因で未解決のボリュームに関するクエリの送信を再試行する最大回数です。エラー。

デフォルト値は「10」です。

- \* vmware.quiesce .retry.count = 0 \*

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが、「...time limit for holding off I/O...」が原因でVMwareスナップショットに関するクエリの送信を再試行する最大回数です。バックアップ中にエラーが発生しました。

デフォルト値は「0」です。

- \* vmware.quiesce.retry.interval=5\*

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが、VMwareスナップショット「...time limit for holding off I/O...」に関するクエリの送信を待機する時間（秒）です。バックアップ中にエラーが発生しました。

デフォルト値は「5」です。

- \* vmware.query.unresolved.retry.delay= 60000 \*

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが「...time limit for holding off I/O...」が原因で未解決のボリューム

ムに関するクエリを送信する間隔（ミリ秒）です。エラー。このエラーは、VMFSデータストアのクローニング時に発生します。

デフォルト値は「60000」（60秒）です。

- \* vmware.reconfig.vm.retry.count = 10 \*

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが、「...time limit for holding off I/O...」が原因でVMの再設定に関するクエリを送信を再試行する最大回数です。エラー。

デフォルト値は「10」です。

- \* vmware.reconfig.vm.retry.delay=30000\*

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが、「...time limit for holding off I/O...」が原因でVMの再設定に関するクエリを送信する間隔（ミリ秒）です。エラー。

デフォルト値は「30000」（30秒）です。

- \* vmware.rescan.HBA.retry.count= 3 \*

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが、「...time limit for holding off I/O...」が原因でホストバスアダプタの再スキャンに関するクエリを送信する間隔（ミリ秒）です。エラー。

デフォルト値は「3」です。

- \* vmware.rescan.hba.retry.delay=30000\*

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereがホストバスアダプタの再スキャン要求を再試行する最大回数です。

デフォルト値は「30000」です。

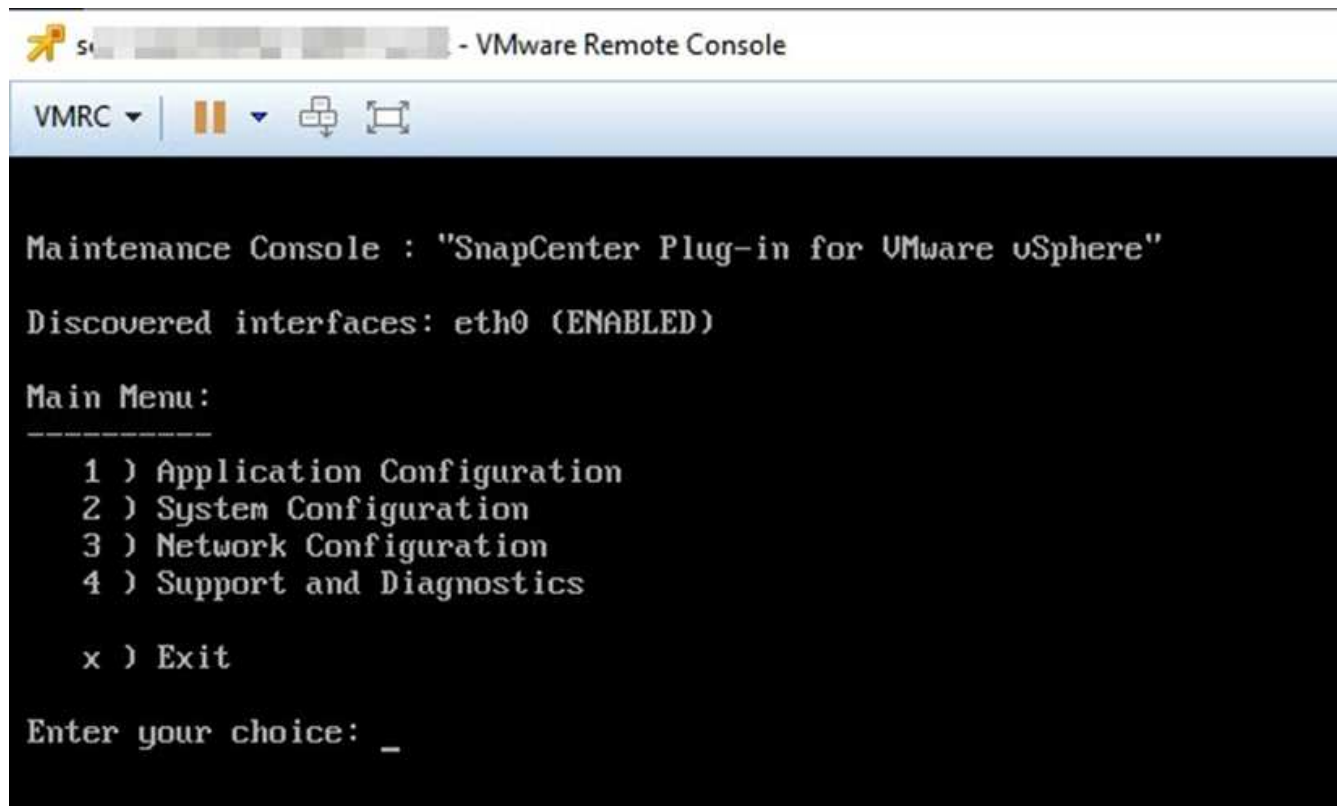
## SnapCenter Plug-in for VMware vSphereのSSHの有効化

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを導入すると、SSHがデフォルトで無効になります。

手順

1. VMware vSphere Clientで、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereが配置されているVMを選択します。
2. 仮想アプライアンスの\*タブで[リモートコンソールの起動]\*を選択してメンテナンスコンソールウィンドウを開き、ログオンします。

メンテナンスコンソールへのアクセスとログオンの詳細については、を参照してください "[Maintenance Consoleにアクセスします](#)"。



ウィンドウ]

3. メインメニューからメニューオプション \* 2) システム構成 \* を選択します。
4. システム設定メニューから、メニューオプション \* 6) SSH アクセスを有効にする \* を選択し、確認プロンプトで「\* y \*」と入力します。
5. 「SSH アクセスを有効にしています ...」というメッセージが表示されるまで待ちます 次に、Enter キーを押して続行し、プロンプトで「\* X \*」と入力してメンテナンスモードを終了します。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。